

現場サイドでのトルクレンチの日常点検に最適

トルクレンチテスター DWT-200

トルクテスタ専門メーカーが、現場向けシンプル仕様にてお届けします。

必要な機能のみを搭載・コストを極限まで抑えました。



簡単操作で、動作トルクのチェックが出来ます
表示が見やすいLEDタイプ

測定方法(トルクレンチ動作トルクチェックの場合)

- ① テスタをしっかりと固定
- ② 電源を入れ、測定モード PD を確認(スライドスイッチ)
- ③ 表示「0」確認(ゼロでない場合は、モードを「TR」にし CLEAR を一押し)
- ④ レンチを検出部に差し込む
- ⑤ クラッチが動作するまで、一気に締め付ける(途中で休まない)
- ⑥ トルク表示を読む

仕様

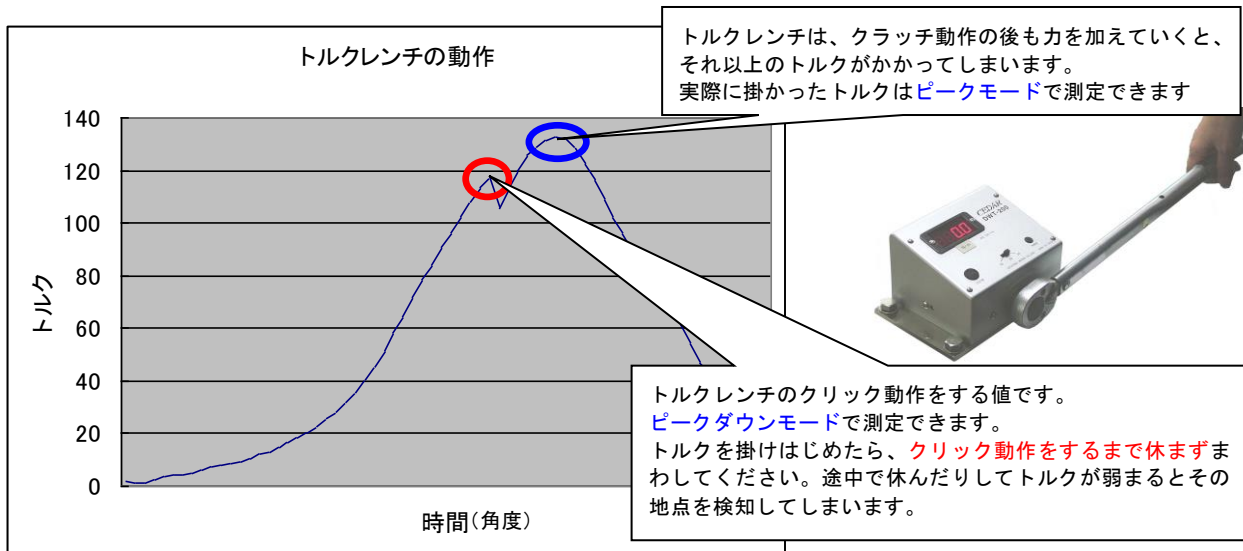
型 式	DWT-200
測 定 範 囲	7.0~200.0 N・m
精 度	±0.5%(499digit 以下±3digit)
測 定 方 向	CW (右方向)
測 定 モ ー ド	Track、P-P(ピークホールド)、P-D(ピークダウンホールド)
オ ー ト パ ワ ー オ フ	放置5分間で電源自動オフ
電 源 ・ 使 用 時 間	単3電池 4本 ・ 連続使用 約 20 時間 (アルカリ電池使用時)
検 出 部 形 状	□12.7 メス
外 形 寸 法 ・ 重 量	200(W)×120(D)×96(H) ・ 約 2.6kg
付 属 品	角ドライブアダプター (□9.5 メス - □12.7 オス) 検出成績書、校正証明書、トレーサビリティ体系図

※データ出力につきましては、オプションにて対応いたします。




スパナタイプのトルクレンチ測定時には別途六角形状アダプターが必要です。(オプションにて準備いたします)

※トルクレンチのクリック動作と実際のトルクについて

トルクレンチは、設定したトルクになると、内部の機械構造により一瞬トルクが下がり手元にクリック感として伝わります。但し、このとき完全に負荷を開放(空転)させてしまうと非常に危険なため、クリック動作の後も負荷をかけるとそのままトルクが掛かってしまいます。結果的に使用方法により、設定トルクよりも大きなトルクが掛かってしまう場合があります。このテストでは、レンチの動作トルクの確認は PD(ピークダウンモード)で検出。実際の締め付け時に掛かるトルクは PP(ピークモード)にて確認できます。各作業者の締め付け動作の確認や訓練にもご利用いただけます。



各製品の最新情報 および 詳細はホームページにてご確認ください。

お問い合わせ		杉崎計器株式会社 〒301-0841 茨城県龍ケ崎市白羽 4-2-12 TEL 0297-63-2200 FAX 0297-63-2201 URL http://www.cedar.co.jp E-mail sales@cedar.co.jp
	 	

* このカタログの内容は改良のため、予告なく仕様・デザインを変更する場合がございますのでご了承下さい。